

# KIDS SMILE LABO JOURNAL

“キッズ スマイル ラボ ジャーナル”

KIDS SMILE LABO が発行するフリーペーパー。普段 SNS でしか見られない保育園の子どもたちの様子や、子育てに関する情報等、最新情報をお届けします。

vol.03  
2021.08

TAKE FREE



## KIDS SMILE LABO の 1 枚。

副園長の森誉さんが選んだ、とっておきの 1 枚を紹介します！

### “体験の中で育まれていく生きる力”

子どもたちは保育園生活の中で多くの原体験を体験し、たくさんの初めてに出会います。幼少期に原体験を多く体験した子どもは感性が豊かになり、物事に意欲的に取り組むことを覚えるとされています。実体験の中で物事へ対応していく力や様々なものの扱い方を知っていきます。そうした「自分でできた」という経験は自己肯定感を育みます。

その中でうまくいかないこともあるでしょう。自分ひとりでは困難なこともあるでしょう。でもここには仲間がいます。

困っていることを伝えられる気持ちも  
手を差し伸べられる気持ちも  
子どもたちが主体であるからこそ養われる心の部分。

KIDS SMILE LABO の生活の中で、  
0 歳の子も 5 歳の子も、子どもたちは正に生きる力を育てている最中です

photo & text by morimori

## 今月のおすすめ note !

かおちゃんのつれづれラボ日記

「保育園の先生たちが素敵なんです。」  
KIDS SMILE LABO の STAFF 自慢？！園長松下の考える保育とは ... ?

もりもりのわくわくラボ日記

「まさか自分がこんな気持ちになるなんて  
思ってもみなかった話。」  
もりもりと息子の休日の出来事。一体何があったのでしょうか ... ?

園長 松下かおる



副園長 森誉



続きは note にて →

# kidssmilelabo.com

@kidssmilelabo

KIDS SMILE LABO

@kidssmilelabo

@KIDS\_SMILE\_LABO



# KIDS SMILE LABO CLASS NEWS

## 楽しいも怖いも 自然が教えてくれる



相模川での川遊びは子どもの好きな遊び、好きな場所の一つです。でも最初からそうだったわけではありません。

プールは大好きでへっちゃら！という子も川という大きな自然を前にした途端、保育者と手を繋いで慎重に慎重に入水しないと不安なんていることもあります。プールでの水遊びとは一味違いますし、怖い、危ない、その感覚がもてるということも大切なことです。自然の中って楽しさや美しさを教えてくれるのと同時に、危なさやそれを回避する術を知ることができる、そんな役割もあるんですよ。だから自然の中で原体験を積み重ねるという機会を私たちは大切にしています。

川遊びを楽しみ始めたこの子たちに、楽しさも面白さも一方で怖さも、遊びを通して感じてもらう身近にある自然を味わう心と身体を育てて欲しいと思います。 文 もりもり



## 井上としお桃園へ 2回目の訪問！

前回緊張しながら初めて乗ったバスも、2回目は少し表情に余裕がみられました。桃園につくと、あちこちに桃が！目の前の桃に興奮して、すぐに手を伸ばす子どもたち。(ちょっとまった!)井上さんに桃の取り方を教えていただき、取り頃の桃を順番にもがせていただきました。高いところは大人の身長以上もありハシゴが必要...しかし、高さに怖がる様子もなく、桃に吸い込まれるように登っていき、もぐことに集中していました。普段食べている桃は、どうやって成ってできるものなのか、桃のルーツを、実際に見て肌で感じてもらえていたら嬉しいと思います。

## つくってみよう！たべてみよう！

持ち帰ってきた桃は、まずジャムにしました。種をとり皮を剥くと、手が桃の匂いでいっぱいになり、「いいにおい♡」と嬉しそうな様子。包丁でカットに挑戦すると真剣な眼差しや力の入り方からそれぞれの気持ちが伝わってきました。鍋にかけるとジャムの匂いがLABOに充満し「食べたい」と待ちきれない様子でした。第二弾はアイスクリーム作り！ジャムと同じ、種取り皮むきの作業は腕があがっているのを感じました。材料を全てジップロックに入れて混ぜ込み、「おいしくなあれ」と唱えながら袋を揉んでいきました。冷やす間、首を長くして待ち、完成！「おいしい♪」「おかわり♡」と笑顔で頬張る姿に、こちらもとても嬉しくなりました。作って食べることを通して、食の興味関心がどんどん広がっていくことを願っています。 文 ちなちゃん



## 五感を育てる 様々な感触遊び



戸外が暑くて出られない今の時期に、こもれび組では日々の活動に感触遊びを取り入れています。寒天遊びや、全身を使ってのペイント、小麦粉粘土、氷遊びなどこの1ヶ月間で様々な感触に触れてきました。

最初は、見たことのない物体にそーっと手を伸ばしてはツンツンと触る子どもたち。「うゑ〜ん」と保育者に助けを求めて泣く子もいれば、ペトツとした感触や冷たい触感にどんどん引き込まれて、夢中で遊ぶ子も！それぞれに違った姿を見せていました。感触によって好き嫌いもある様子で、寒天は好きだけど小麦粉は苦手...といった様子もありますよ。

乳幼児期に行うこの活動では、

- ・指先の力や、運動能力を伸ばす
- ・集中力を高める
- ・興味関心を引き出すことができる

といったねらいがあります。

これからももう少し暑い日が続くと思うので、様々な素材に触れていけたらと思っています。身近な物で簡単に取り組むことができるので、ぜひご家庭でも遊んでみてくださいね。又、こんな遊びもあるよ等ありましたら教えてください。 文 あづあづ



## Laboのかき氷屋さん！ 本格的かき氷機が登場！



「かき氷屋さんだよー！」の声に「なんだ？なんだ？」と集まってくる子ども達。

本格的なかき氷機を使って氷をかく姿に目をキラキラさせながら順番を待ち、自分のかき氷をもらおうとLaboで作った梅シロップ、桃シロップ、それに加え農家さんから頂いた赤紫蘇シロップと好きなシロップを自分でかけていただきました。

「つめたーい！」「おいしーい！」と大好評なかき氷。おかわりする子もたくさんいましたよ。0歳児の子ども達はアレルギー等の問題もあるのでシロップ無しでしたが、かき氷を少し口に入れ、冷たくて驚いた表情を見せてくれました。

子どもも大人も夏の素敵な思い出になりました。 文 みっきー

### 8月の行事予定

19日(木) 身体測定  
26日(月) 避難訓練